

該当クラス：普通科・理数科・美術科

1 単元 現代評論「虚ろなまなざし」岡 真理

2 単元の見どころ	3 評価規準
<p>読むこと</p> <p>◎筆者の問題意識を把握する。(I)</p> <p>◎我々が「虚ろなまなざし」に耐えかねる理由を整理し、被害者としての自分を他者に同一化することの暴力性を理解する。(C)</p> <p>◎ヒューマニズムという言葉で語られる行動の主体化の功罪について考える。(C)</p> <p>書くこと</p> <p>◎社会問題の中からテーマを決めて意見を書く。(E)</p>	<p>読むこと</p> <p>①一枚の写真とそれを巡る出来事に対する筆者の問題意識を把握することができたか。</p> <p>②我々が難民の子どもの「虚ろなまなざし」に耐えかねる理由と、被害者としての自分を他者に同一化することの暴力性について理解することができたか</p> <p>③ヒューマニズムという言葉で語られる行動の主体化の功罪について考えることができたか。</p> <p>書くこと</p> <p>④社会問題の中から適切なテーマを設定し、自分の意見を書くことができたか。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	学習プリントの自己採点	1	事前に配布済みの学習プリントの自己採点	提出プリントによる確認	① ～ ④
第2回	事前に集約した学習プリントに関する質問項目	1	動画による質問に対する内容解説	定期考査等	① ～ ③

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

該当クラス：普通科・理数科・美術科

1 単元 現代評論「陰翳礼讃」谷崎潤一郎

2 単元の目標	3 評価規準
<p>関心・意欲・態度 ◎日本文化の変容について関心を持って調べたり、考察したりする。(E)</p> <p>読むこと ◎日本文化の魅力について理解する。(I) ◎筆者の研ぎ澄まされた感覚を読み取ることができたか。(C) ◎読者の共感を誘う、工夫された筆者の特徴的な表現を理解する。(I)</p> <p>書くこと ◎学習プリントの設問に対する解答として、適切な言葉を使用する。(I)</p>	<p>関心・意欲・態度 ①本評論をきっかけに日本文化に対する関心を深め、現代の生活において陰翳の在り方がどのように変容しているか、関心を持って調べたり、考察したりすることができたか。</p> <p>読むこと ②筆者が述べる日本の漆器・料理の魅力を、具体例に即して理解することができたか。 ③薄暗い昭和初期の日本家屋の夜を想像しながら、筆者がどのように感覚を研ぎ澄ましているか読み取ることができたか。 ④特徴的な表現をもとに、五感を駆使し、読者の共感を誘う筆者の工夫を理解することができたか。</p> <p>書くこと ⑤学習プリントの設問に対する解答として、適切な言葉を使用しているか。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	プリント第1回学習範囲	1	語句及び問題 (5題)	提出プリントによる確認	①～⑤
第2回	プリント第2回学習範囲	1	語句及び問題 (6題)	提出プリントによる確認	①～⑤
第3回	プリント第3回学習範囲	1	語句及び問題 (7題)	提出プリントによる確認	①～⑤
第4回	プリント第4回学習範囲	1	学習の手引き及び自己評価	提出プリントによる確認	①～⑤

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

該当クラス：理数科、美術科

1 単元 日記『更級日記』菅原孝標女

2 単元の目標	3 評価規準
<p>読むこと ◎平安女流日記文学の特徴を理解する。(I) ◎平安時代の人々の生活や仏教に対する意識を学ぶ。(I) ◎古語や敬語の知識を活用して、正確に口語訳する。(C) 言語事項 ◎読解の基礎となる古典文法を理解する。(I)</p>	<p>読むこと ①平安女流日記文学の特徴を理解することができたか。 ②平安時代の人々の生活や仏教に対する意識を学ぶことができたか。 ③古語や敬語の知識を活用して、正確に口語訳することができたか。 言語事項 ④読解の基礎となる古典文法を理解できているか。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	学習プリントの自己採点	1	事前に配布済みの学習プリントの自己採点	提出プリントによる確認	① ～ ④
第2回	事前に集約した学習プリントに関する質問項目	1	動画による質問に対する内容解説	定期考査等	① ～ ③

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

該当クラス：理数科、美術科

1 単元 日記『蜻蛉日記』

2 単元の目標	3 評価規準
<p>関心・意欲・態度 ◎平安時代の結婚制度や夫婦の在り方を、現代と比較しながら学ぶ。(I)</p> <p>読むこと ◎古語や敬語の知識を活用しながら、正確に口語訳する。(C)</p> <p>◎作者の心の動きを繊細な文章と和歌を通して読み取る。(C)</p> <p>言語事項？ ◎読解の基礎となる古典文法を理解する。(I)</p>	<p>関心・意欲・態度 ①平安時代の結婚制度や夫婦の在り方を、現代と比較しながら学ぶことができたか。</p> <p>読むこと ②古語や敬語の知識を活用しながら、正確な口語訳ができたか。</p> <p>③作者の心の動きを繊細な文章と和歌を通して読み取ることができたか。</p> <p>言語事項 ④読解の基礎となる古典文法が理解できているか。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	本文通読 学習プリント P1～P3の③の二まで	1	平安時代の特徴 和歌について 本文口語訳(古典文法の確認等)	提出プリントによる確認	① ～ ④
第2回	学習プリント P3の④～P5	1	本文口語訳(古典文法の確認等) 自己評価	提出プリントによる確認	① ～ ④

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

該当クラス：理数科、美術科

1 単元 逸話 「不顧後患」(『説苑』)

2 単元の目標	3 評価規準
<p>読むこと</p> <p>◎語彙や句形の知識を確認しながら正確な書き下しや口語訳を心がける。(C)</p> <p>◎小孺子の説得の巧みさを理解する。(C)</p> <p>◎呉王はなぜ荊を討つことをやめたのか、そのわけを考える。(C)</p>	<p>読むこと</p> <p>①語彙や句形の知識を確認しながら、正確な書き下しと口語訳ができたか。</p> <p>②小孺子の説得の巧みさが理解できたか。</p> <p>③呉王はなぜ荊を討つことをやめたのか、そのわけを考える。</p>

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	本文通読 学習プリント P1～P2の⑥	1	書き下し文 本文口語訳(漢文句法の確認等)	提出プリントによる確認	① ～ ③
第2回	学習プリント P2の⑦～P4	1	書き下し文 本文口語訳(漢文句法の確認等) 自己評価	提出プリントによる確認	① ～ ③

評価については、上記の提出プリントの他、定期考査による評価も行う。

熊本県立第二高等学校 3学年「世界史B」シラバス(5月分)

1. 単元 第1章オリエントと地中海世界(1)古代オリエント世界(2)ギリシア世界(3)ローマ世界

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文化の特徴を理解する。 ・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエントの影響を受けたギリシア・ローマ文明の意義を探究する。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教科書に掲載されている地理的名称、人物、各文明の資料を理解できている。 ② 地中海一帯の地理的特質、ギリシア文明の基盤になったポリス世界について基本的な知識を身に付けている。 ③ ローマ帝国化の過程やローマ法、皇帝理念、キリスト教などについて把握し、基本的な知識を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ④ オリエントの古代文明の現代にまで与えている影響の大きさを考察する。 ⑤ ギリシア文明やローマ文化がのちのヨーロッパ世界に与えた影響を理解する。

4. 授業計画

授業回数	学習内容	学習内容	評価方法	評価規準
①	第1章 1古代オリエント①オリエント世界の風土と人々 ②シュメール人の都市国家	教科書16～18を読み、整理ノート6を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	①④
②	③メソポタミアの統一と周辺地域の動向 ④エジプトの統一国家	教科書18～21を読み、整理ノート6～9を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	
③	⑤東地中海世界の諸民族 ⑥古代オリエントの統一	教科書21～24を読み、整理ノート9～12を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	①④
④	⑦パルティアとササン朝の興亡 ⑧イラン文明の特徴	教科書25～26を読み、整理ノート12～13を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	
⑤	2. ギリシア世界 ①地中海世界の風土と人々 ②エーゲ文明	教科書27～29を読み、整理ノート14を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	④
⑥	③ポリスの成立と発展 ④市民と奴隷 ⑤アテネとスパルタ	教科書29～31を読み、整理ノート14～16を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	②⑤
⑦	⑥民主政への歩み ⑦ペルシア戦争とアテネ民主政 ⑧ポリスの変容	教科書32～35を読み、整理ノート16～18を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	③
⑧	⑨ヘレニズム時代 ⑩ギリシアの生活と文化	教科書35～40を読み、整理ノート18～21を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	⑤
⑨	3. ローマ世界①ローマ共和政 ②地中海制服とその影響 ③内乱の一世紀	教科書40～44を読み、整理ノート22～23を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	②
⑩	④ローマ帝国 ⑤3世紀の危機 ⑥西ローマ帝国の滅亡	教科書44～47を読み、整理ノート24～25を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	②③
⑪	⑦キリスト教の成立 ⑧迫害から国教化へ ⑨ローマの生活と文化	教科書47～51を読み、整理ノート26～29を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	⑤
⑫	教科書p201～p330の見直し (2年次履修した分・やってない部分は独自に進める。)	教科書201～330を読み、整理ノート112～193を仕上げる。	学校再開後、整理ノートを提出	

【学習方法】

- ①教科書を見ながら整理ノートを埋める
- ②内容を資料集、参考書(各自で探そう)、動画(classiの学習コンテンツ動画はおすすめ)
- ③ネットなどを使い、歴史用語・人物を理解する。ネットで世界史一問一答があるので、アウトプットしてください。

【上記の範囲の整理ノートを完成させて、休校明けに提出】

第二高等学校 3 学年「日本史B」普通科・理数科・美術科シラバス (5月分)

1. 単元 1-2 農耕社会の成立 1-3 古墳とヤマト政権
 2-1 飛鳥の朝廷 2-2 律令国家への道 2-3 平城京の時代 2-4 天平文化

2. 単元の目標

(1-2) 農耕社会の成立

- *大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて弥生文化の形成を考察する。
- *集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連付けて考察する。

(1-3) 古墳とヤマト政権

- *地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。
- *ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。
- *古墳時代後期～終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。

(2-1) 飛鳥の朝廷

- *ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。

(2-2) 律令国家への道

- *律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化の形成過程について考察する。
- *律令に基づく国内統治体制について理解する。

(2-3) 平城京の時代

- *律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。
- *平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する

3 評価規準

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
(1-2) 農耕社会 の成立	弥生文化の成立過程やその社会の特色について関心をもち、日本列島における政治的・地域的な統合が進んでいった歴史的背景を意欲的に追究しようとしている。	弥生時代に農業生産が始まり、階級社会への移行が進んだこととによって、各地で小国の分立へと展開したことを考察し、自らの考えを適切に表現している。	弥生時代の遺跡から出土した土器や金属器などの考古学的遺物から情報を読み取るとともに、弥生時代後半の中国との交渉について、文献史料から情報を正確に読み取っている。	農耕文化・金属文化としての弥生文化の特色や人々の暮らしの様子と、中国史書にみえる倭人の社会に関する知識を身に付けている。
(1-3) 古墳とヤ マト政権	古墳文化の展開と深い関連をもつ大和王権の成立過程に関心をもち、王権がつくりだした支配制度の特色や大陸から伝来した新しい思想や文物などについて課題を設定し、意欲的に追究しようとしている。	大和王権が成立した背景や中国との交渉の目的、長期間にわたる古墳文化の時期ごとの特色などを考察し、自らの考えを適切に表現している。	対外交渉に関しては好太王碑などの金石文や倭の五王に関する中国史書の内容を適切に読み取り、古墳文化に関してはその構造や副葬品の特色などについての情報を考古学的遺物から正確に読み取っている。	大和王権の成立背景や氏姓制度・部民制度に代表される支配構造に関する知識を身に付け、弥生文化とは異なる古墳文化の展開や新たな大陸文化の伝来について理解している。

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
(2-1) 飛鳥の朝廷	厩戸王や蘇我馬子が推古朝で進めた文化の展開に、飛鳥文化の発展に意欲的に関心をもち、探究しようとしている。	6世紀に大和王権が直面した課題について、東アジア世界の大きな変動が進行していることを考察し、自らの考えを適切に表現している。	推古朝の国政改革に、憲法十七条を記述し、遣隋使の派遣や遣唐使の派遣などについて、飛鳥文化の国際性や世界性などの作品を刻み取っている。	大和王権が東アジア世界のなかで、飛鳥文化の発展に意欲的に関心をもち、探究しようとしている。
(2-2) 律令国家への道	大化の改新を経ていく過程に、律令国家の形成に関心をもち、探究しようとしている。	中央集権的な律令国家の確立まで、大化の改新や壬申の乱などを経なければならぬ歴史的背景を考察し、自らの考えを適切に表現している。	律令国家の形成に向けて、大化の改新や壬申の乱などを経なければならぬ歴史的背景を考察し、自らの考えを適切に表現している。	大化の改新を経ていく過程に、律令国家の形成に関心をもち、探究しようとしている。
(2-3) 平城京の時代	平城京の貴族や庶民の生活に関心をもち、探究しようとしている。	奈良時代の政治や文化の発展に意欲的に関心をもち、探究しようとしている。	平城京の貴族や庶民の生活に関心をもち、探究しようとしている。	平城京の貴族や庶民の生活に関心をもち、探究しようとしている。

4. 授業計画

授業	内容	教科書ページ	整理ノートページ	評価の基準
1	弥生文化の成立、弥生人の生活	p15～19	8～9	①③
2	小国の分立、邪馬台国連合	p19～22	10～11	②③
3	古墳の出現、前期・中期の古墳	p23～25	12～13	③④
4	東アジア諸国との交渉～古墳文化の変化	p26～29	14～15	②④
5	古墳時代の人々の生活～ヤマト政権と政治制度	p29～33	16～17	③④
6	ヤマト政権の発展、飛鳥の朝廷と文化	p34～37	18～19	①④
7	大化の改新～白鳳文化	p38～41	20～21	②④
8	大宝律令と官僚制、民衆の負担	p41～44	22～23	③④
9	遣唐使、奈良の都平城京、地方官衙と辺境	p44～49	23～24	①④
10	藤原氏の進出と政界の動揺、	p49～52	26～27	②③
11	民衆と土地政策、天平文化と大陸、国史編纂と『万葉集』	p52～56	26～29	③④
12	国家仏教の展開、天平の美術	p56～59	28～29	③④

【学習方法】

- ①教科書を見ながら整理ノート（配付のプリント）を埋める
- ②内容を図説、参考書（各自で探そう）、動画（classiの学習コンテンツ動画はおすすめ）で深める
- ③10分間テスト、研究ノートで理解を確認する

【上記の範囲の整理ノートを完成させて、休校明けに提出】

評価について

Classiのwebテスト・アンケート等の解答を用いる。
休校後に提出する、プリント、ノート類の提出を用いる。

熊本県立第二高等学校 3学年「地理B」シラバス (5月分)

1. 単元 (1) 林業・水産業 (2) 生活文化と民族・宗教

<p>2. 単元の目標</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな森林資源の利用方法や、主要漁場の成立・発展の条件と特色について理解させる。 人種や言語、宗教の違いを理解させる。 世界各地の人種、民族の違いによる対立を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人種や言語・宗教の違いがなぜ対立の原因となるのかを考えさせる。 	<p>3. 評価規準</p> <p>【知識・技能】</p> <p>A. さまざまな森林資源の利用方法や、主要漁場の成立・発展の条件と特色について理解させる。</p> <p>B. 人種や言語、宗教の違いを理解する。</p> <p>C. 世界各地の人種、民族の違いによる対立を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>D. 人種民族問題についてのレポートを作成し、現在の状況についても考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>E. 計画を立て実施し取組をふり返ることができる。</p>
---	---

4. 授業計画

授業回数	学習内容	学習内容	評価方法	評価規準
①	林業	・教科書 p97 ・要点ノート p62～p63 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	A
②	水産業	・教科書 p98～p99 ・要点ノート p64～p67 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	A
③	①, ②の復習	・地理力UPノート p38 Check-2, p39 Work-2 を、①, ②を振り返り、完成。	登校再開後に提出。	E
④	衣食住	・教科書 p164～p169 ・要点ノート p122～p123 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	E
⑤	人種	・要点ノート p124～p125 を教科書、資料集などを参考に完成。 ・南アフリカ、アメリカ、オーストラリアの人種問題、いずれか1つについて調べ(インターネット等の使用も可)、5/11の登校日配付のプリントにレポートをまとめる。	登校再開後に提出。	B D
⑥	言語	・教科書 p170～p171 ・要点ノート p126～p127 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	B
⑦	宗教	・教科書 p172～p173 ・要点ノート p128～p129 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	B
⑧	④～⑦の復習	・地理力UPノート p60～p61 を、④～⑦を振り返り、完成。	登校再開後に提出。	E
⑨	民族問題1	・教科書 p176～p177 ・要点ノート p130 [16] までを教科書、資料集などを参考に完成。 ・パレスチナ問題について調べ(インターネット等の使用も可)、5/11の登校日配付のプリントにレポートをまとめる。	登校再開後に提出。	C D
⑩	民族問題2	・教科書 p176～p177 ・要点ノート p130 [17] ～p131 までを教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	C
⑪	難民問題等	・要点ノート p132～p133 を教科書、資料集などを参考に完成。	登校再開後に提出。	C
⑫	⑨～⑪の復習	・地理力UPノート p64～p65 を、⑨～⑪を振り返り、完成。	登校再開後に提出。	E

レポートについて

5月11日の登校日に配付されるプリント(A4サイズ)に従って、レポートを作成。
 ⑤南アフリカ共和国、アメリカ合衆国、オーストラリア、いずれか1つの国の人種問題について調べて、レポートを作成する。書籍や映画、インターネット等の引用、資料添付も可。ただし、引用元を明記すること。
 ⑨パレスチナ問題について調べて、レポートを作成する。書籍や映画、インターネット等の引用、資料添付も可。ただし、引用元を明記すること。

課題の提出および評価について

レポートについては、プリントに記載された期日にクラスでまとめて、担当者に提出。
 要点ノート、地理力UPノート、教科書(マーカーやアンダーラインを引くこと)は、登校再開後の授業で回収する。登校再開後、授業内で休校期間中の学習内容に関する小テストを実施する。

第二高等学校 3 学年「理数数学Ⅱ」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 関数 (2) 極限 (3) 微分法 (4) 微分法とその応用 (5) 積分法と応用
(6) 複素数平面

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数や極限を扱う。 ・微分法と積分法を活用する。 ・複素数平面を活用する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識を用い問題に取り組む。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に学習する。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 関数や極限を扱うことができる。 ② 微分法と積分法を活用できる。 ③ 複素数平面を活用できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ④ 既習の知識を用い問題に取り組むことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 計画的に学習することができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	関数	1	・問題番号22、23	後日ノート提出	①④⑤
第2回	関数	1	・問題番号24、25、26	後日ノート提出	①④⑤
第3回	極限	1	・問題番号32、33、34	後日ノート提出	①④⑤
第4回	極限	1	・問題番号35、36、37	後日ノート提出	①④⑤
第5回	微分法	1	・問題番号42、43、44	後日ノート提出	②④⑤
第6回	微分法	1	・問題番号45、46、47	後日ノート提出	②④⑤
第7回	微分法の応用	1	・問題番号54、55	後日ノート提出	②④⑤
第8回	微分法の応用	1	・問題番号56	後日ノート提出	②④⑤
第9回	微分法の応用	1	・問題番号57、58	後日ノート提出	②④⑤
第10回	積分法とその応用	1	・問題番号64、65	後日ノート提出	②④⑤
第11回	積分法とその応用	1	・問題番号66、67	後日ノート提出	②④⑤
第12回	積分法とその応用	1	・問題番号68、69	後日ノート提出	②④⑤
第13回	積分法とその応用	1	・問題番号70	後日ノート提出	②④⑤
第14回	複素数平面	1	・問題番号8、9	後日ノート提出	③④⑤
第15回	複素数平面	1	・問題番号10、11	後日ノート提出	③④⑤

第二高等学校 3 学年「数学特論」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 数と式[数学Ⅰ] (2) 式と証明[数学Ⅱ] (3) 複素数と方程式[数学Ⅱ]

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 式を計算し値を求める。 ・ 等式・不等式を証明する。 ・ 複素数の計算をする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の知識を用い問題に取り組む。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的に学習する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 式の計算し値を求めることができる。 ② 等式・不等式を証明できる。 ③ 複素数の計算ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 既習の知識を用い問題に取り組むことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 計画的に学習することができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	(Ⅰ) 式の計算	1	・ 問題番号 9、10、11、12、13	後日ノート提出	①④⑤
第2回	(Ⅱ) 二項定理、正式の除法、分数式の計算	1	・ 問題番号 250、252、253	後日ノート提出	①④⑤
第3回	(Ⅰ) 式の値	1	・ 問題番号 21、23	後日ノート提出	①④⑤
第4回	(Ⅱ) 恒等式、等式・不等式の証明	1	・ 問題番号 262、264、267	後日ノート提出	②④⑤
第5回	(Ⅰ) 1次不等式	1	・ 問題番号 34、35、38	後日ノート提出	①④⑤
第6回	(Ⅱ) 複素数とその計算、2次方程式の理論	1	・ 問題番号 276、278	後日ノート提出	③④⑤

第二高等学校 3 学年「理数物理」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) オームの法則 (2) 直流回路 (3) 半導体

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気回路について理解する <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気回路についてオームの法則、キルヒホッフの法則を用いその意味を式として表現する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組を繰り返す。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中学での学習内容電流・電圧・抵抗を理解できる。 ② 半導体の特徴を知る。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ オームの法則を用い立式できる。 ④ キルヒホッフの法則の意味を理解し活動できる。 ⑤ 電子の動きとして電流が理解できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。

4. 授業計画

授業回	内容	教科書ページ	アクセス	評価の基準
1	オームの法則	142~145		①②
2	抵抗率	145~147		⑤
3	ジュール熱	148~149		③
4	演習(コンデンサー)		402 409	⑥
5	直流回路電流計電圧計	150~153		③
6	キルヒホッフの法則	156~157		④
7	演習(キルヒホッフ)		419 420	④⑥
8	電池の起電力と内部抵抗・抵抗の測定	158~159		④
9	演習(起電力計・ホイートストン)		基例 106 423 424	④⑥
10	起電力の測定・非直線抵抗	160~161		④
11	演習(非直線抵抗)		425	④⑥
12	コンデンサーを含む直流回路	162~163		④
13	半導体	164~167		②⑤
14	演習(コンデンサー・ダイオードをふくむ回路)		428 426	⑥
15	振り返りの時間(自分の必要に応じて復習)			⑥

取り組み方

- 「演習」の時間は指定のアクセスの問題に取り組む
問題の解説は Classi に配信します。
- その他の時間は、教科書をよみ、教科書の問題を解いて理解を深める。
youtube 等の高校物理解説動画を参考にすること。
教科書の問題の解説はクラッシーにて配信します。
- 上記以外の取り組みについて
1 週間当たりの物理の学習時間の目安は 10 時間です。
指定されていないアクセスの問題をどんどん解き進める。
この期間中に 263 ページまでは解き終えること。

評価について

Classi の web テスト・アンケート等の解答を用いる。
登校日に提出する、ノート・ルーズリーフの内容を用いる。

熊本第二高等学校 3学年理数科「理数生物」シラバス (5月7日～15日分)

1. 単元 第5章 動物の反応と行動 第4節 刺激への反応

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表的な効果器である筋肉の構造と筋収縮のしくみを理解する。 筋原繊維の構造や機能を理解する。さらに筋収縮におけるカルシウムイオンの役割やエネルギーの供給を理解する。 その他の効果器を理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筋収縮のしくみ(滑り説)を正確に把握し説明する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組を繰り返す。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 代表的な効果器である筋肉の構造と筋収縮のしくみを理解できる。 筋原繊維の構造や機能を理解できる。さらに筋収縮におけるカルシウムイオンの役割やエネルギーの供給を理解できる。 その他の効果器を理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 筋収縮のしくみ(滑り説)を正確に把握し説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	1A 筋肉の構造 1B 筋収縮のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P240～241を読む。 図説P216を読む。 New Global(P236)を参考にしてノートに要点をまとめる。 	後日、ノート を提出 定期考査	(1) (2) (4) (5)
第2回	1C カルシウムイオンと筋収縮	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P242を読む。 図説P217～218を読む。 New Global(P237)を参考にしてノートに要点をまとめる。 	後日、ノート を提出 定期考査	(2) (4) (5)
第3回	1D 筋収縮とエネルギー 1E 単収縮と強縮	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P243～P244を読む。 図説P218～219を読む。 New Global(P237)を参考にしてノートに要点をまとめる。 	後日、ノート を提出 定期考査	(2) (4) (5)
第4回	2A 繊毛と鞭毛 2B 分泌腺 2C 発電器官と発光器官	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P244～P245を読む。 図説P220を読む。 教科書を参考にしてノートに要点をまとめる。 	後日、ノート を提出 定期考査	(3) (4) (5)
第5回	第4節「刺激への反応」のまとめ その1	<ul style="list-style-type: none"> 研究ノート <ul style="list-style-type: none"> P120 ウォーミングアップ(13)～(15) P130～P133 基本問題 126～129 P140 発展問題 137 	提出 定期考査	(4) (5)
第6回	第4節「刺激への反応」のまとめ その2	New Global(P243)基本例題 39 、(P244、P250)基本問題 138、147、148	提出 定期考査	(4) (5)

※ 第5回と第6回の問題をルーズリーフ用紙に解き、自己採点后に訂正をして登校日に提出してください。

熊本第二高等学校 3 学年「理数化学」シラバス (5 月分)

1. 単元 無機物質

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識・技能】</p> <p>①非金属元素や金属元素の単体・化合物の性質や反応について、周期表と関連づけながら理解する。</p> <p>②典型元素と遷移元素の特徴を正確に把握する。</p> <p>③無機物質がその特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解し、その知識を応用する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>④日常生活と関わり深い無機物質について観察実験を行い、規則性を見出し、さまざまな事象の生じる要因やしぐみを科学的に考察する。</p> <p>⑤無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察、判断する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>⑧計画を立て実施し取組を繰り返す。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①非金属元素や金属元素の単体・化合物の性質や反応について、周期表と関連づけながら理解することができる。</p> <p>②典型元素と遷移元素の特徴を正確に把握できている。</p> <p>③無機物質がその特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解し、その知識を応用することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>④日常生活と関わり深い無機物質について観察実験を行い、規則性を見出し、さまざまな事象の生じる要因やしぐみを科学的に考察することができる。</p> <p>⑤無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察、判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>⑧計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	周期表と元素の分類 水素と貴ガス	①教科書 p. 182~187 ②動画視聴 ③アクセス 351, 352, 356, 357, 368 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①②
第2回	ハロゲンとその化合物	①教科書 p. 188~192 ②動画視聴 ③アクセス 358, 361, 369 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①②④
第3回	酸素・硫黄とその化合物	①教科書 p. 193~199 ②動画視聴 ③アクセス 362, 367, 371 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①③⑤
第4回	窒素・リンとその化合物	①教科書 p. 200~203 ②動画視聴 ③アクセス 377, 388 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①②⑤
第5回	炭素・ケイ素とその化合物	①教科書 p. 204~208 ②動画視聴 ③アクセス 381, 382, 383 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①②④
第6回	アルカリ金属とその化合物	①教科書 p. 213~218 ②動画視聴 ③アクセス 394, 403 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①②⑤
第7回	アルカリ土類金属とその化合物	①教科書 p. 219~221 ②動画視聴 ③アクセス 395, 396 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①②⑤
第8回	1, 2 族以外の典型元素とその化合物	①教科書 p. 222~229 ②動画視聴 ③アクセス 398, 401, 402, 404 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①②⑤
第9回	遷移元素とその化合物	①教科書 p. 230~235 ②動画視聴 ③アクセス 408, 409, 410, 419 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①②③⑤
第10回	遷移元素とその化合物	①教科書 p. 236~239 ②動画視聴 ③アクセス 411, 412, 414 ④確認テスト	Classi による 確認テスト	①②③⑤
第11回	非金属分野の総復習	①教科書 p. 210~211 ②アクセス 391 ③確認テスト	テスト	⑥
第12回	金属分野の総復習	①教科書 p. 244 ②確認テスト	テスト	⑥

※授業回で指定された学習内容に取り組みましょう。

※該当のアクセスの番号を解きましょう。

※①10分、②10分、③20分、④10分が目安です。

※確認テストは、Classi にて配信します。

5. 備考

(1) 化学科では classi/ポートフォリオ/アルバムを利用して、化学の学習で生じた質問を受けたいと考えています。現在、試行段階です。今後効率の良い方法を検討していきます。質問の受け方は、以下のとおりです。

①自力で解いたところまでのノートを写真に撮って、ファイルを添付、classi に投稿してください。タイトルは教科書・問題集等の名称とそのページ、本文は特に解説をしてほしいところ、メッセージを記載してください。

②化学科の担当者が①を見て、回答する。上記の方法でうまくいかない場合は classi を通じて連絡ください。改善を考えます。

また、classi でうまくいかないときには、学校へ直接電話 (096-368-4125) での問い合わせも可能です。

(2) 学習が順調に進んでいる方は、化学問題集アクセスや重要問題集の該当ページを解き進めてください。

(3) 現在、化学科で動画を作成しております。作成完了次第、アップしていきます。学習していく中で、Web 化学動画を活用するのも一つの方法です。Web 化学動画のサイトの一例を紹介します。

・NHK 高校講座

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/kagakukiso/>

・個別教室のトライ

https://www.youtube.com/watch?v=GEjtSrSaFjc&list=PLf0Jcbz0N8NdV_K_3z181q6t0wZrRrPJBox

・Web 玉塾

<https://www.webtamajuku.com/kagaku>

第二高等学校 3学年「コミュニケーション英語Ⅲ」シラバス（5月分）

1. 単元 長文読解（歴史・文化）

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化についての英文を読み、正しく理解する。 ・語法や構文についての知識を増やす。 ・文中の語彙や表現を正しく理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論旨展開を理解し、要約する。 ・テーマについて自分の意見を表現する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歴史・文化にテーマについての英文を正しく理解できる。 ②語法や構文について知識を増やし理解できる。 ③文中の語彙や表現を正しく理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④論旨展開を理解し、要約することができる。 ⑤テーマについて自分の意見を表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	長文読解 (Custom)	1	・NEO 現代を読む Unit 1 を解く。 ・単語・熟語確認シートで 語彙を確認する。	Classi による 確認テスト	① ② ③
		2	・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く	Classi による取組の振 り返りアンケート	④ ⑥
第2回	長文読解(Hero)	3	・NEO 現代を読む Unit 2 を解く。 ・単語・熟語確認シートで 語彙を確認する。	Classi による 確認テスト	① ② ③
		4	・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く	Classi による取組の振 り返りアンケート	④ ⑥
第3回	長文読解 (Accident)	5	・NEO 現代を読む Unit 3 を解く。 ・単語・熟語確認シートで 語彙を確認する。	Classi による 確認テスト	① ② ③
		6	・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く	Classi による取組の振 り返りアンケート	④ ⑥
第4回	長文読解(Art)	7	・NEO 現代を読む Unit 4 を解く。 ・単語・熟語確認シートで 語彙を確認する。	Classi による 確認テスト	① ② ③

		8	<ul style="list-style-type: none"> ・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く 	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥
第5回	長文読解 (History)	9	<ul style="list-style-type: none"> ・NEO 現代を読む Unit 5を解く。 ・単語・熟語確認シートで語彙を確認する。 	Classiによる確認テスト	① ② ③
		10	<ul style="list-style-type: none"> ・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く 	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥
第6回	長文読解 (Language)	11	<ul style="list-style-type: none"> ・NEO 現代を読む Unit 6を解く。 ・単語・熟語確認シートで語彙を確認する。 	Classiによる確認テスト	① ② ③
		12	<ul style="list-style-type: none"> ・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く 	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥
第7回	長文読解 (Education)	13	<ul style="list-style-type: none"> ・NEO 現代を読む Unit 7を解く。 ・単語・熟語確認シートで語彙を確認する。 	Classiによる確認テスト	① ② ③
		14	<ul style="list-style-type: none"> ・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く 	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥
第8回	長文読解 (Education)	15	<ul style="list-style-type: none"> ・NEO 現代を読む Unit 8を解く。 ・単語・熟語確認シートで語彙を確認する。 	Classiによる確認テスト	① ② ③
		16	<ul style="list-style-type: none"> ・解答を見て自己採点。 ・本文を3回音読する。 ・補助プリントを解く 	Classiによる取組の振り返りアンケート	④ ⑥

※5月15日(金)、22日(金)、29日(金)にチャックで英単語の確認テストを配信します。生徒は各自で解いて自己採点。

第二高等学校 3学年「英語表現Ⅱ」シラバス（5月分）

1. 単元 英作文

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語の文型の基本を理解する。 時制の基本を理解する。 無生物主語を含む構文を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法事項を踏まえて英語で表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組を繰り返す。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 英語の正しい語順や文型を理解できる。 時制の使い分けが理解できる。 無生物主語の構文を理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各文法事項を用いて日本語を英語で表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	文型	1	・Grow Up! LESSON 1 C～Dを解く。	Classiによる 確認テスト	① ④
		2	・解答を見て自己採点。 ・間違った箇所を解き直す。	Classiによる取組の振 り返りアンケート	⑤
第2回	時制1	3	・Grow Up! Lesson2 review 和訳、A～Bを解く。	Classiによる 確認テスト	② ④
		4	・解答を見て自己採点。 ・間違った箇所を解き直す。	Classiによる取組の振 り返りアンケート	⑤
第3回	時制1	5	・時制1 Grow Up! Lesson2 C～Dを解く。	Classiによる 確認テスト	② ④
		6	・解答を見て自己採点。 ・間違った箇所を解き直す。	Classiによる取組の振 り返りアンケート	⑤
第4回	英作文（第1、第 2文型）	7	・アップリフト英作文1 を解く。	Classiによる 確認テスト	① ④
		8	・解答を見て自己採点。 ・間違った箇所を解き直す。	Classiによる取組の振 り返りアンケート	⑤
第5回	英作文（第5文 型）	9	・アップリフト英作文2 を解く。	Classiによる 確認テスト	① ④
		10	・解答を見て自己採点。 ・間違った箇所を解き直す。	Classiによる取組の振 り返りアンケート	⑤
第6回	英作文（無生物主 語）	11	・アップリフト英作文3 を解く。	Classiによる 確認テスト	③ ④
		12	・解答を見て自己採点。 ・間違った箇所を解き直す。	Classiによる取組の振 り返りアンケート	⑤

※5月15日(金)、22日(金)、29日(金)にチャックで英単語の確認テストを配信します。生徒は各自で解いて自己採点。

熊本第二高等学校 3学年「SSⅢ」シラバス（5月分）

1. 単元 論文の英訳

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識・技能】 ①英語の論文の型を知り、それに従って適切に英訳する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ②課題研究やその専門分野に関して、英訳のポスターを作成、質問等論理的に英語で答える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ③課題研究やその専門分野を通して培った科学的な創造力・独創力・探究心や科学的リテラシーと、科学分野における語学力を合わせた総合的な力で発表、質疑応答する。</p>	<p>【知識・技能】 ①英語の論文の型を知り、それに従って適切に英訳できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ②課題研究やその専門分野に関して、英訳のポスターを作成、質問等に論理的に英語で答えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ③課題研究やその専門分野を通して培った科学的な創造力・独創力・探究心や科学的リテラシーと、科学分野における語学力を合わせた総合的な力で発表、質疑応答できる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	アブストラクトの英訳	<ul style="list-style-type: none"> ・SSⅢの目標を共有 ・ループリック評価の説明 ・2年次に作成した論文の【アブストラクト】部分を英語にする。(要旨はClassiにて配信) ・各自課題BOXに提出する。 	アブストラクトの添削 ⇒ 返却 ⇒ リライト (完成) 完成したアブストラクトにABC Dの評価をつける (1回目)	①②
第2回	目的・結論・参考文献の英訳	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の【目的・結論・参考文献】部分を英語にする。 ・各自課題BOXに提出する。 	目的・結論・参考文献の添削 ⇒ 返却 ⇒ リライト (完成) 完成した目的・結論・参考文献にABC Dの評価をつける (2回目)	①②
第3回	仮説・使用器具・方法・結果の英訳	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の【仮説・使用器具・方法・結果】部分を英語にする。 ・各自課題BOXに提出する。 	仮説・使用器具・方法・結果の添削 ⇒ 返却 ⇒ リライト (完成) 完成した仮説・使用器具・方法・結果にABC Dの評価をつける (3回目)	①②

5. 備考

※6月以降の動きは以下のとおり

第4回：最も良かった生徒を各グループの中からピックアップする

第5回：音声を入れて発表する ⇒ 動画を撮る (作る) ABCDの評価 (4回目) 【C】

第6回：熊大と共有して大学院からの評価を得る ABCDの評価 (5回目) 【E】
Zoom等で発表する (動画配信)